＜平成 25 年度試買テスト「スプレー缶のガス抜きキャップと穴あけ器」巻末資料＞

ガス抜きキャップの使い方及び注意表示一覧(製品別)(１)

タイプ	No.	表示内容
キャップの天面のヘコミを使用	1	【ガス抜きキャップの使い方および使用上の注意】 ※必ず中身を使い切ってから行う。 ※風通しが良く火気のない戸外で、人や物にかからないように行う。 ①スプレーボタンをはずし、平らな場所に新聞紙などを敷き、その上にキャップを置く。 ②缶を逆さまにしてキャップの窪みにノズルを押し込み、噴射音が完全に消えるまで缶を押し続ける。
	2	【ガス抜きキャップの使い方】 (注意事項) ①必ず中身を使い切ってから行ってください。 ②火気のない屋外で行ってください。 ③塗料が飛び散っても差し支えないところで行って下さい。 ④容器が倒れないよう平らな場所で行って下さい。 (ガス抜きの方法) ①スプレーから押しボタンを引き抜きます。 ②キャップの内側にティッシュペーパーを５～６枚詰め、セロハンテープで浮かないように止めます。 ③容器を立てた状態でステムにキャップ天面の穴を合わせて押し込みます。キャップが固定されてシューという音とともにガスと塗料が抜けはじめます。 ２～３時間放置後、缶には油性ペンで”ガス抜き済”と表示し、キャップと分別廃棄して下さい。
	3	【廃棄時のガス抜き方法】 ●中身を完全に使い切ってから、火気や人気のない戸外で行う。 ①キャップを外す。（ガス抜きキャップとして利用してください） ②ガス抜きキャップの下に新聞紙等を敷き平らで安定した場所に置く。 ③図のように缶を逆さにしてガス抜きキャップに押し込む。 ④ガスが連続噴射され、噴射音が消えるまで行う。 ※中身を大量に使い残した場合のガス抜き方法は発売元にお問い合わせください。

ガス抜きキャップの使い方及び注意表示一覧(製品別)(２)

タイプ	No.	表示内容
つまようじを使用	4	【廃棄の方法】 ●使い切ってから捨てること。 ●捨てる時は、風通しがよく火気のない屋外で噴射レバーを引き、噴射音が消えるまでガスを抜いて、各自治体の定める方法に従って廃棄すること。その際、噴射レバーを引いたまま、青色のスプレーキャップ側面の孔につまようじ等を差込むと、噴射レバーがロックされ最後までガスを抜くことができる。噴射が不十分な場合は、つまようじ等を押し下げると最後まで噴射できる。顔にかからないように注意すること。 ●大量に使い残した缶の廃棄方法はお手数ですが〇〇お客様窓口にお問い合わせください。
	5	【廃棄の方法】 ●本品は使い切ってから捨てること。 ●捨てるときは、火気のない屋外でボタンを押し、噴射音が消えるまでガスを抜いて、各自治体の定める方法に従って廃棄すること。 ※ガスの抜き方：ボタンを押したままキャップの後部に開いた穴からつまようじ等を押し込むと、ボタンがロックされ最後までガスを噴射できます。 ●大量に使い残した缶の廃棄はお手数ですが〇〇お客様窓口にお問い合わせください。
コインを使用	6	【廃棄上の注意】 ゴミとして出すときは、火気のない通気性のある屋外でガス抜きボタンを利用するか、噴射音が消えるまでボタンを押してガスを抜き、地域の規則に従って出してください。 (便利なガス抜きボタン付き) ●火気のない屋外で人や植物等にかからないよう行ってください。 ●大量に使い残した缶の廃棄方法は下記(お客様相談室)にお問い合わせください。 10 円硬貨と同サイズのコインをボタン上部のガイドの下に差込むとボタンがロックされ、廃棄時にガス抜きができます。

ガス抜きキャップの使い方及び注意表示一覧(製品別)(３)

タイプ	No.	表示内容
キャップの天面を押込み／折込み使用	7	【ガス抜きキャップ付き(残ガス排出用)】 (注意事項) ●中身を使い切ってから、火気のない屋外で行ってください。 ●可燃性の液が多量に出て危険なので、中身が残っている製品には使用しないでください。 ●本品のキャップ以外は使用しないでください。 (ガス抜きの方法) ①キャップ上面のラベルをはがす。 ②キャップを取りはずし、中央部をしっかり下に押し込む。 ③キャップを缶にはめ直す。 ④噴射音が完全に消えてから、市町村等で定められた方法により廃棄します。 [両側がロックされる位置まで押し込む。▶▶▶スプレーボタンが押されてガスが出ます。]
	8	【ガス抜きキャップ付き】 ＜ガス抜きの注意事項と方法＞ ※中味を完全に使い切ってから、火気のない戸外で行ってください。 ※本品のキャップ以外は使用しないでください。 ①キャップを缶からはずします。 ②キャップ天面の半円２つを下に折り込み、カチッと音がなるまで半円を合わせます。(指や爪のケガにご注意ください) ③もとのようにキャップを缶にはめるとガスが噴射されます(中味の飛散・タレ落ちにご注意ください) ④噴射音が完全に消えてから、市町村等で定められた方法で廃棄してください。 [①はずす、②折り込みカチッと合わせる、③はめる]

ガス抜きキャップの使い方及び注意表示一覧(製品別)(４)

タイプ	No.	表示内容
キャップの向きを変えて使用	9	中身を使い切った後に（ガス抜きキャップ付き） **【ガス抜きの注意事項】** ●中身を使い切ってから、火気のない戸外で行う。 ●可燃性の液が多量に出て危険なので、中身が残っている製品には使用しない。 ●本品のキャップ以外は使用しない。 **【ガス抜きの方法】** ①キャップを引き抜く。 ②向きを反対にさせる。 ③カチッとなるまで強く押し込む。[自動的にガスが噴射されます。] ④噴射音が完全に消えてから、市町村等で定められた方法によりキャップと缶を分別して廃棄する。 ※①の時にボタンが外れた場合はボタンをはめ直した後に、②以降の動作を行う。
	10	【ガス抜きキャップ付き】 **＜ガス抜きの注意事項と方法＞** ※中味を完全に使い切ってから、火気のない戸外で行なってください。 ①噴射口が見える状態にします。 ②缶を横にして片方の手で缶部分を、もう片方の手で肩カバーの三角マークとその反対側を包むように持ち、ねじりながら肩カバー・キャップを引き抜きます。 ※ボタンまで外れた場合は、ボタンを下に押し込み外してください。 ③ボタンとキャップの天面にある丸印を合わせます。 ④もとのように肩カバー・キャップを缶にはめこむとガスが噴射されます(中味の飛散・タレ落ちにご注意ください。) ⑤噴射音が完全に消えてから、市町村で定められた方法で廃棄してください。 [①噴射口を見える状態にする、②肩カバー・キャップを引き抜く、③ボタンとキャップの丸印を合わせる、④はめこむ]

ガス抜きキャップの使い方及び注意表示一覧(製品別)(５)

タイプ	No.	表示内容
その他	11	【廃棄の方法】 ●火気のない戸外で使いきったことを確認する。 ●ガス抜きキャップを使用して完全にガスを抜く。 ●キャップはプラスチックごみ、容器は空き缶として捨てる。 ※大量に残っている場合は、〇〇お客様相談室までお問い合わせください。 ＜ガス抜きキャップの使い方＞ 噴射レバーを引いたまま、ロックを矢印の方向に押し込むと、噴射レバーがロックされ、ガスが抜けます。固い場合はペンなどで押し込む。 ※噴射口を顔に向けない。 ＜キャップの取り外し方＞ 缶を片手でしっかり持ち、キャップを前面から、後ろ方向に引っ張り、取り外す。
	12	【廃棄の方法】 ●火気のない戸外で使いきったことを確認する。 ●ガス抜きキャップを使用して完全にガスを抜く。 ●キャップはプラスチックごみ、容器は空き缶として捨てる。 ※大量に残っている場合は、〇〇お客様相談室までお問い合わせください。 ＜ガス抜きキャップの使い方＞ ボタンを押しながら、キャップ上部のアーチを下方向に押すと、ボタンがロックされ、ガスが抜けます。 ＜キャップの取り外し方＞ 缶を両手でしっかり持ち、キャップの後方をななめ前方に押し上げてキャップを外す。
	13	【捨てる時（ガスの抜き方）】 必ず中身を使い切ってから行う。 １．ハート部を手前にたおす。 ２．缶を矢印の方向へ止まるまで１８０度まわす。残ったガスが上から排出されます。 噴射音が消えるまで行ってください。 ※火の気のない戸外で風下に向かって行う。 ※缶の上部をのぞきこんだり人に向けない。 ※地域の規則に従って捨てる。
	14	【ガス抜きキャップの使い方】 必ず中身を使い切ってから、火気・風のない屋外で行ってください。 ①キャップをはずす。 ②内部のガス抜きチップを矢印の方向へ中央部の穴の上までスライドさせる。 ③再びキャップをはめ、ガスを排出させる。完全にガスを抜くために噴射音が消えてから２時間以上放置する。
	15	【残ガス排出機構付き】 （ガス抜きの注意点） 中身を完全に使い切ってから、火気がなく通気のよい屋外で行ってください。 （ガス抜きの方法） ①スプレーボタン部分の切り込みが入っている部分を上に持ち上げてください。 ②垂直に立ち上がった所で、その部分を持って右方向に９０度回して、残ガスを抜いてください。中止したい場合は、位置を元に戻せば止まります。

ガス抜きキャップ　使用上の注意事項(内容別)

①中身を使い切ってから行う。

●必ず中身を使い切ってから行う。：１、１３
●必ず中身を使い切ってから行ってください。：２
●中身を完全に使い切ってから、火気や人気のない戸外で行う。：３
●中身を使い切ってから、火気のない屋外で行ってください。：７
●可燃性の液が多量に出て危険なので、中身が残っている製品には使用しないでください。：７
●中味を完全に使い切ってから、火気のない戸外で行ってください。：８
●中身を使い切ってから、火気のない戸外で行う。：９
●可燃性の液が多量に出て危険なので、中身が残っている製品には使用しない。：９
●中味を完全に使い切ってから、火気のない戸外で行なってください。：１０
●火気のない戸外で使いきったことを確認する。：１１、１２
●必ず中身を使い切ってから、火気・風のない屋外で行ってください。：１４
●中身を完全に使い切ってから、火気がなく通気のよい屋外で行ってください。：１５

②火気のない屋外で行う。

●風通しが良く火気のない戸外で、人や物にかからないように行う。：１
●火気のない屋外で行ってください。：２
●ゴミとして出すときは、火気のない通気性のある屋外でガス抜きボタンを利用するか、噴射音が消えるまでボタンを押してガスを抜き、地域の規則に従って出してください。：６
●火気のない屋外で人や植物等にかからないよう行ってください。：６
●中身を使い切ってから、火気のない屋外で行ってください。：７
●中味を完全に使い切ってから、火気のない戸外で行ってください。：８
●中身を使い切ってから、火気のない戸外で行う。：９
●中味を完全に使い切ってから、火気のない戸外で行なってください。：１０
（●火気のない戸外で使い切ったことを確認する。：１１、１２）
●火の気のない戸外で風下に向かって行う。：１３
●必ず中身を使い切ってから、火気・風のない屋外で行ってください。：１４
●中身を完全に使い切ってから、火気がなく通気のよい屋外で行ってください。：１５

③中身を大量に使い残した場合のガス抜き方法は発売元に問い合わせる。

●中身を大量に使い残した場合のガス抜き方法は発売元にお問い合わせください。：３
●大量に使い残した缶の廃棄方法はお手数ですが○○お客様窓口にお問い合わせください。：４
●大量に使い残した缶の廃棄はお手数ですが○○お客様窓口にお問い合わせください。：５
●大量に使い残した缶の廃棄方法は下記(○○お客様相談室)にお問い合わせください。：６
●大量に残っている場合は、○○お客様相談室までお問い合わせください。：１１、１２

④本品のキャップ以外は使用しない。

●本品のキャップ以外は使用しないでください。：７、８
●本品のキャップ以外は使用しない。：９

⑤人や物にかからないようにする。

●風通しがよく火気のない戸外で、人や物にかからないように行う。：１
●顔にかからないように注意すること。：４
●火気のない屋外で人や植物等にかからないよう行ってください。：６
●噴射口を顔に向けない。：１１
●缶の上部をのぞきこんだり人に向けない。：１３

⑥その他

●塗料が飛び散っても差し支えないところで行って下さい。：２
●容器が倒れないよう平らな場所で行って下さい。：２
●指や爪のケガにご注意ください。：８
●中味の飛散・タレ落ちにご注意ください。：８、１０
●噴射音が消えるまで行ってください。：１３

⑦廃棄時に注意すること（地域の規則に従う等）。

●使い切ってから捨てること。：４、５
●ガス抜きキャップを使用して完全にガスを抜く。：１１、１２
●２～３時間放置後、缶には油性ペンで”ガス抜き済”と表示し、キャップと分別廃棄して下さい。：２
●キャップはプラスチックごみ、容器は空き缶として捨てる。：１１、１２
●捨てる時は、風通しがよく火気のない屋外で噴射レバーを引き、噴射音が消えるまでガスを抜いて、各自治体の定める方法に従って廃棄すること。：４
●捨てるときは、火気のない屋外でボタンを押し、噴射音が消えるまでガスを抜いて、各自治体の定める方法に従って廃棄すること。：５
●地域の規則に従って捨てる。：１３

(注)コロン「：」後の番号は、表示のあった製品番号

ガセットボンベ　注意表示一覧(製品別)(１)

No.	成分等 (ガス種類)	【火気と高温に注意】(※) 表示 有無	【火気と高温に注意】(※) 表示すべき 注意事項の有無	廃棄上の注意表示	注意表示
1	LPG (液化ブタン) 有臭、250ｇ	○	○	●容器（ボンベ）は完全に使い切って(振って音がしないことを確認して）から、他のゴミと分別して捨ててください。清掃車の火災などの恐れがあります。	【火気と高温に注意】高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、危険なため、下記の注意を守ること。 ①こんろで炭の火をおこしたり、こんろを二台以上並べて使用しないこと。 ②高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や火気等の近くなど温度が四十度以上となる所に置かないこと。 ③火の中に入れないこと。 ④使い切って捨てること。 ⑤ガスを再充填しないこと。 高圧ガス：ＬＰＧ（液化ブタン） 【注意】この容器（ボンベ）は○○シリーズ専用容器ですから、それ以外のこんろ等には使用しないでください。ガス漏れ及び着火しない恐れがあります。 【警告】この切込み凹部をこんろ等の容器受けガイド凸部に合わせてセットしてください。 【警告】安全のために必ずお守りください。 ●容器（ボンベ）が過熱すると容器内圧力が上がり爆発する危険がありますので十分に注意し、以下のような作為を禁止します。 ×こんろで炭の火をおこす。 ×容器（ボンベ）をストーブ（ファンヒーター）など熱気のあたる場所に置く。 ×容器（ボンベ）を火の中に投げ入れる。 ×容器（ボンベ）を４０℃以上になる車等の中に置く。 ×容器（ボンベ）を電磁調理器の上に置く。 ×こんろ（グリル）を２台以上並べての使用。 ×容器カバーを少しでも覆うような鉄板や鍋などの使用。 ●器具（こんろ）は車内、テント内等などの狭い空間では絶対に使用しないでください。一酸化炭素中毒や酸欠による窒息死、火災の恐れがあります。 ●ガスを燃焼させるために、酸素が必要です。屋内で使用する場合は換気に十分注意してください。不完全燃焼による一酸化中毒死や酸欠による窒息死の恐れがあります。 ●容器（ボンベ）のガスを故意に吸い込むと人体に害を与えることがあり、酸欠により窒息死する恐れがあります。 ●ガスボンベ詰替キットなどの使用による再充填は危険ですのでおやめください。 ●使用しないとき、容器（ボンベ）は４０℃未満の湿度の少ない場所にキャップをして保管してください。また容器（ボンベ）は時々点検してサビが発生している場合には、ガス漏れがないことを確認後できるだけ早く使用してください。器具（こんろ）にセットしたまま保管しないでください。 ●お子様の手の届かない場所に保管してください。 ●容器（ボンベ）を棚などの落下しやすい場所に置かないでください。 ●ガス漏れの恐れがありますので、容器（ボンベ）は表示どおり正しくセットして使用してください。 ●冬期の低温時及び器具（こんろ）によっては、ガスの出が悪くなる場合があります。 ●容器（ボンベ）は完全に使い切って（振って音がしないことを確認して）から、他のゴミと分別して捨ててください。清掃車の火災などの恐れがあります。

(※)一部改正後の 高圧ガス保安法施行令告示による表示（H23.7.15 公布、H24.4.1 施行）

ガセットボンベ　注意表示一覧(製品別)(2)

No.	成分等 (ガス種類)	【火気と高温に注意】(※)		廃棄上の注意表示	注意表示
		表示 有無	表示すべき 注意事項の有無		
2	LPG (液化ブタン) 有臭、250ｇ	△	△	●容器は完全に使い切ってから、地域の取り決めに従って廃棄してください。清掃車火災などの恐れがあります。	【注意】この容器（ボンベ）は○○シリーズ専用容器です。この容器（ボンベ）の使用を指定している器具（こんろ等）以外には使用しないでください。ガスが漏れたり、着火しない恐れがあります。 【警告】容器切込み凹部を器具の容器受けガイド凸部に合わせてセットしてください。 【火気と高温に注意】高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、危険なため、下記の注意を守ること。 ①こんろで炭の火をおこしたり、こんろを２台以上並べて使用しないこと。 ②高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や火気等の近くなど温度が４０℃以上となる所に置かないこと。 ③火の中に入れないこと。 ④使い切って捨てること。 ⑤ガスを再充填しないこと。 高圧ガス：ＬＰＧ（液化ブタン） 【警告】安全のために必ずお守りください。 ●器具の取扱説明書をお読みの上、容器は表示どおり器具に正しくセットして使用してください。ガス漏れの恐れがあります。 ●容器が爆発する恐れがありますので以下を必ずお守りください。 ・容器をストーブやファンヒーターなど熱気のあたる所に置かない。 ・容器を電磁調理器の上に置かない。 ・こんろを２台以上並べて使用しない。 ・鉄板や鍋底がこんろの容器カバーを少しでも覆う使用はしない。 ●容器は完全に使い切ってから、地域の取り決めに従って廃棄してください。清掃車火災などの恐れがあります。 ●死亡又は重症の原因になりますので、次のことをお守りください。 ・器具は車内、テント内等の狭い空間では絶対に使用しないでください。また屋内で使用する場合は換気に十分注意してください。一酸化炭素中毒や酸欠により死亡又は重症の原因になります。 ●吸引危険：ガスを故意に吸引すると、酸欠により窒息死する原因となります。 ●再充填禁止：ガスボンベ詰替キット等の使用による再充填は危険ですのでおやめ下さい。 ●思わぬ事故の原因になりますので、次のことをお守りください。 ・容器は４０℃以下の湿度の少ない場所にキャップをして保管する。 ・容器に錆が発生している場合には、ガス漏れのないことを必ず確認して、できるだけ早期に使用する。 ・使用後は器具から外してキャップをして保管する。 ・子供の手のとどかない場所に保管する。 ・容器を棚などの落下しやすい場所に置かない。 ●冬期の低温時及び器具によっては、ガスの出が落ちる場合があります。

(※)一部改正後の 高圧ガス保安法施行令告示による表示（H23.7.15 公布、H24.4.1 施行）
△：改正(施行日：H24.4.1）前に製造されたテスト品には表示がありませんでした

ガセットボンベ　注意表示一覧(製品別) (3)

No.	成分等 (ガス種類)	【火気と高温に注意】(※) 表示 有無	【火気と高温に注意】(※) 表示すべき 注意事項の有無	廃棄上の注意表示	注意表示
3	LPG (液化ブタン) 有臭、250ｇ	△	△	●容器は完全に使い切ってから､他のごみと区分して捨ててください。清掃車の火災などの恐れがあります。	【注意】この容器（ボンベ）は○○シリーズ専用容器ですから、それ以外のこんろには使用しないでください。ガス漏れ及び着火しない恐れがあります。 【警告】この切込み凹部をこんろ等の容器受けガイド凸部に合わせてセットしてください。 【火気と高温に注意】高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、危険なため、下記の注意を守ること。 ①こんろで炭の火をおこしたり、こんろを２台以上並べて使用しないこと。 ②高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や火気等の近くなど温度が４０℃以上となる所に置かないこと。 ③火の中に入れないこと。 ④使い切って捨てること。 ⑤ガスを再充填しないこと。 高圧ガス：ＬＰＧ（液化ブタン） 【警告】 ●容器は表示どおり器具に正しくセットして使用してください。ガス漏れの恐れがあります。 ●次のような行為は容器が爆発する恐れがありますので､以下を必ずお守りください。 ・容器をストーブ（ファンヒーター）など熱気のあたるところに置かない。 ・こんろで炭の火をおこさない。 ・容器を火の中に投げ入れない。 ・容器を４０℃以上になる車等の中に置かない。 ・容器を電磁調理器の上に置かない。 ・使用中、鉄板や鍋底が容器カバーの上に少しでもかぶさる使用はしない。 ・こんろを２台以上並べて使わない。 ●容器は完全に使い切ってから、他のごみと区分して捨ててください。清掃車の火災などの恐れがあります。 ●器具は車内、テント内等の狭い空間では絶対に使用しないでください。また屋内で使用する場合は換気に十分注意してください。一酸化炭素中毒や酸欠により死亡又は重傷の原因になります。 ●思わぬ事故の原因になりますので、次のことをお守りください。 ・子供の手のとどかない場所に保管する。 ・容器は４０℃以下の湿度の少ない場所にキャップをして保管する。 ・容器に錆が発生している場合には、ガス漏れのないことを必ず確認して、できるだけ早く使用する。 ・使用後は器具から外し、キャップをして保管する。 ・容器を棚などの落下しやすい場所に置かない。 ●吸引危険：ガスを故意に吸引すると、酸欠により窒息死する原因となります。 ●冬期の低温時及び器具によっては、ガスの出が落ちる場合があります。 ●再充填禁止：ガスボンベ詰替キット等の使用による再充填は危険ですのでおやめ下さい。 ●器具の使用後は取扱説明書に従って、点検とお手入れを行ってください。

(※)一部改正後の 高圧ガス保安法施行令告示による表示（H23.7.15 公布、H24.4.1 施行）

△：改正(施行日：H24.4.1）前に製造されたテスト品には表示がありませんでした

カセットボンベ　使用上の注意事項(内容別)

①容器は完全に使い切ってから、地域の取り決めに従って廃棄する。

●容器（ボンベ）は完全に使い切って（振って音がしないことを確認して）から、他のゴミと分別して捨ててください。清掃車の火災などの恐れがあります。：１、３

●容器は完全に使い切ってから、地域の取り決めに従って廃棄してください。清掃車火災などの恐れがあります。：２

②専用容器以外のこんろ等には使用しない。

【注意】この容器（ボンベ）は○○シリーズ専用容器ですから、それ以外のこんろ等には使用しないでください。ガス漏れ及び着火しない恐れがあります。：１，２，３

●容器は表示どおり器具に正しくセットして使用してください。ガス漏れの恐れがあります。：１、２、３

③容器切込み凹部を器具の容器受けガイド凸部に合わせてセットする。

【警告】容器切込み凹部を器具の容器受けガイド凸部に合わせてセットしてください。：１、２、３

④容器（ボンベ）が過熱すると容器内圧力が上がり爆発する危険があるので、以下の行為を禁止する。

●こんろで炭の火をおこす。：１、３

●容器（ボンベ）をストーブ（ファンヒーター）など熱気のあたる場所に置く。：１、２、３

●容器（ボンベ）を火の中に投げ入れる。：１、３

●容器（ボンベ）を４０℃以上になる車等の中に置く。：１、２、３

●容器（ボンベ）を電磁調理器の上に置く。：１、２、３

●こんろ（グリル）を２台以上並べての使用。：１、２、３

●容器カバーを少しでも覆うような鉄板や鍋などの使用。：１、２、３

⑤車内、テント内等の狭い空間では絶対に使用しない。屋内で使用する場合は換気に十分注意する。

●器具は車内、テント内等の狭い空間では絶対に使用しないでください。また屋内で使用する場合は換気に十分注意してください。一酸化炭素中毒や酸欠により死亡又は重傷の原因になります。：１、２、３

⑥吸引危険

●吸引危険：ガスを故意に吸引すると、酸欠により窒息死する原因となります。：１、２、３

⑦再充填禁止

●再充填禁止：ガスボンベ詰替キット等の使用による再充填は危険ですのでおやめ下さい。：１、２、３

⑧保管上の注意

●容器は４０℃以下(未満)の湿度の少ない場所にキャップをして保管する。：１、２、３

●容器に錆が発生している場合には、ガス漏れのないことを必ず確認して、できるだけ早期に使用する。：１、２、３

●使用後は器具から外して(キャップをして)保管する。：１、２、３

●子供の手のとどかない場所に保管する。：１、２、３

●容器を棚などの落下しやすい場所に置かない。：１、２、３

●器具の使用後は取扱説明書に従って、点検とお手入れを行ってください。：３

(注)コロン「：」後の番号は、表示のあった製品番号

穴あけ器　使用上の注意事項(内容別)

①中身を使い切ってから行う。

●プッシュボタンが無くなってしまった缶は、古布などに中身を出してから穴をあけてください。：２、３

●スプレー缶の中身を全て使い切ってから穴を開けてください。：３

●カセットボンベは火が消えるまで使い切ってから穴を開けてください。：３

●スプレー缶は必ず使い切ってからガス抜きをしてください。：４

●スプレー缶は、必ず使いきり、ガスを完全に抜いた状態でつぶしてください。ガスが残っていると大変危険です。：４

②火気のない屋外で行う。

●危険防止の為、火気の近く及びタバコを吸いながらの使用は避けてください。：１

●必ずベランダや庭などの屋外で使用してください。：１

●周りに火気がないことを確認し、必ず屋外の風通しのよい場所で使用してください。：２、３

●必ず屋外の火の気がない場所で、人がそばにいないことを確認してください。：２

●静電気でガスに引火する危険がありますので、絶対に屋内では使用しないでください。：２、３

●ガス抜き作業は必ず火の気の無い風通しの良い屋外で行ってください。：３

●火のそばや高温な場所を避けて行ってください。：４

③静電気によるガスへの引火に注意する。

●静電気でガスに引火する危険がありますので、絶対に屋内では使用しないでください。：２、３

●静電気の起こりやすい服装にはご注意ください。：２、３

●壁や水道管に触れたりして、静電気を逃がしてから使用してください。：２、３

④用途以外に使用しない。

●用途以外に使用しないでください。：１

●用途以外の使用はおやめください。：２

●スプレー缶、カセットボンベのガス抜き以外には使用しないでください。：３

●本製品は、あき缶・スプレー缶つぶし器として使用するものです。他の用途には使用しないでください。：４

⑤人や物にかからないように注意する。

●ガスや中身が身体にかからないように十分注意してください。：２、３

●床が汚れないように、ガス抜き器の下に新聞紙などを敷いて使用してください。：３

⑥針や金属部での怪我や転倒に注意する。

●ご使用中は針を身体にささない様に十分ご注意ください。：２

●本品の金属部には手を触れないでください。：３

●使用中、転倒する危険がありますので、必ず片方の足を地面につけた状態でつぶしてください。：４

●ご使用中に指をはさむ危険がありますので、上部プレートは、必ずリング部に指をかけて持ち上げてください。またプレートを踏むときはあき缶から手をはなしてください。：４

⑦スプレー塗料等は側面からガスを抜く。

●スプレー塗料、アルミ缶は必ず側面からガスを抜いてください。：２

●底の厚い缶は側面からガスを抜いてください。：２

●スプレー塗料は必ず側面からガスを抜いてください。：２

⑧使用後は、安全カバー等を閉め、幼児の手の届かない場所に保管する。

●特に幼児の手の届かない場所に保管するようにしてください。：２

●使用後は安全カバーを閉め、お子様の手の届かない安全な場所に保管してください。：３

●使用後は小さなお子様の手の届かない所に保管してください。：４

●ご使用後は必ずロックをしてからキャップを被せてください。：２

⑨取扱説明書等は保管しておく。

●本品使用中、このパッケージは捨てずに保管してください。：２、３

⑩その他

●使用中に破損・変形などが生じたらただちに使用を中止してください。：２

●強い衝撃を加えると破損の原因となります。：２

●缶に残ガス排出機構がついている場合、缶の使用説明に従い使用してください。：２、３

●缶には、アルミ缶・スチール缶識別マークがあります。ご確認の上使用してください。：４

●缶詰などのあき缶はつぶせません。（くだもの、魚貝類、ペット用など）：４

商品改良のため、予告なく外観・仕様などを変更する場合があります。あらかじめご了承ください。：４

●スプレー缶は種類・形状によりつぶれない場合があります。：４

(板厚のあついもの・トリガー式のもの、つぎめのないものなど)

⑪廃棄方法についての注意（地域の規則に従う等）

●缶をガス抜きせずに回収する地区もありますので、各自治体の指示に従って廃棄してください。：２、３

(注)コロン「：」後の番号は、注意表示のあった製品番号